

第2回「チームサイエンスの科学の日本での推進 × ハテナソン」

ここ 20 年、チームベースで行う研究活動(チームサイエンス)に対する大規模・戦略的な投資が増える中、チームサイエンスの科学(Science of Team Science/SciTS)が注目を集めている。SciTSとは、実証的根拠に基づきチームサイエンスに対する研究開発、人材育成、実施支援を行い、チームサイエンスの効果・効率の最大化、科学的・社会的インパクトの解明、アカデミアの構造変容を目指す学際的・教育研究分野である。日本では、SciTS が扱う課題への関心が高い。しかしながら、SciTS のような横断的・実証的・応用的な取組はまだ見られない。

このような状況下、本企画では、SciTS とはどのような学術分野であるかを紹介し、多様な参加者と一緒にハテナソン(質問を創るワークショップ)を通じて、日本における SciTS の推進を探求する。

プログラム

13:00-13:30	開場
13:30-13:35	開会挨拶 津田 博司(RISTEX) 趣旨説明 王 戈(RISTEX)
13:35-13:50	ハテナソン説明・ウォーミングアップ ファシリテーター 佐藤 賢一(ハテナソン共創ラボ)
13:50-14:25	インプットトーク「チームサイエンスの科学とは」王 戈(RISTEX)
14:30-16:00	ハテナソン
16:00-16:15	休憩
16:15-16:55	パネルディスカッション パネリスト:荒川 歩(武蔵野美術大学)・石川 淳(立教大学)・王 戈(RISTEX)・加納 圭(滋賀大学)・津田 博司(RISTEX)
16:55-17:25	参加者一人一言 司会 加藤 豪(RISTEX)
17:28-17:30	閉会

日時: 2018年1月15日(月), 13:30-17:30, 30分前から入場可

主催者: (国研) 科学技術振興機構・社会技術研究開発センター(RISTEX)
(任意団体) チームサイエンスコモンズ(TSC)

参加費: 無料

定員: 約30名(お申込先着順)

対象者: チームサイエンスや分野融合、人材育成、R&D マネジメント・評価等に関心・経験を持つ研究者・実践者・教育者・支援者・助成者・政策策定者・事業者、等々

インブットーク (概要)

チームサイエンスの科学とは / What is Science of Team Science

2006年にアメリカで SciTS という言葉が使われてから、SciTS は急速な発展をとげた。その知見は英語圏先進国が主導する公共衛生や環境などの社会的介入プログラムや、農学などの研究現場、研究者トレーニングや大学院教育の現場、研究教育にかかる政策策定の現場、研究投資の現場などで活用されている。本報告は SciTS に関する動向調査の結果および日本の有識者に対するインタビューの内容を報告・考察する。

登壇者略歴(五十音順)

荒川 歩(あらかわ あゆむ) 武蔵野美術大学造形学部 准教授

2004年同志社大学大学院文学研究科単位取得退学、博士(心理学)、立命館大学人間科学研究科、名古屋大学大学院法学研究科を経て現職。専門は法と心理学ほか。行動政策学が最近の研究テーマ。

石川 淳(いしかわ じゅん) 立教大学経営学部 教授・学部長 / 立教大学リーダーシップ研究所 所長

慶應義塾大学大学院経営管理研究科博士課程修了 博士(経営学) 山梨学院大学商学部、立教大学社会学部を経て現在に至る。専門は組織行動論と人材マネジメント論、リーダーシップ論。創造的成果とリーダーシップの関係が最近の研究テーマ。

王 戈(おう か) (国研) 科学技術振興機構・社会技術研究開発センター アソシエイト・フェロー

お茶の水女子大学博士後期課程退学(社会心理学)。2014年 JST 入社、領域設定、NPO 調査等の業務を経て、現在社会技術基礎調査を担当。それまで、大学で常勤・非常勤研究員歴9年、心理学非常勤講師歴4年、教育研究支援専門職員歴1年。

加納 圭(かのう けい) 滋賀大学教育学部 准教授

2009年京都大学大学院生命科学研究科修了、博士(生命科学)。京都大学 WPI-iCeMS 特任教員を経て現職。一般社団法人社会対話技術研究所代表理事を兼任。

佐藤 賢一(さとう けんいち) 京都産業大学 教授 / NPO 法人ハテナソン共創ラボ 理事長

1991年、神戸大学大学院自然科学研究科物質科学専攻中退。1996年、博士(理学)。1991年から大学で発生生物学を専門とする教育・研究に、2016年から NPO 法人で質問をつくる学び場(ハテナソン)の研究開発・実践に、従事している。
法人 HP : https://peraichi.com/landing_pages/view/hatenathon

津田博司(つだ ひろし) (国研) 科学技術振興機構・社会技術研究開発センター 企画運営室長

1992年新技術事業団(現 JST)入社。旧科学技術庁、JST の国際事業、基礎研究及び産学連携事業、パリ事務所等での勤務を経て、2011年より RISTEX にて勤務。RISTEX では、社会問題の解決に向け、自然科学と人文社会科学の知見を活用し、社会のステークホルダーとの協働による研究開発及び社会実装活動を支援。

お申込

お申込サイト :

https://form.jst.go.jp/enquetes/SciTS_hatenathon

お申込締切日

2018年1月11日(木)まで

お問い合わせ先

社会技術研究開発センター 推進グループ

水野 : c2mizuno@jst.go.jp

王 : ge.wang@jst.go.jp

電話 : 03-5214-0133

会場

住所 : 東京都千代田区四番町 5-3

サイエンスプラザ B1F 大会議室

